

令和3年度仁木町地域おこし協力隊活動報告書

令和3年度における活動内容記入願います。

氏名	鈴木綾子	活動年数	3年
活動目標	<p>※活動開始時に設定した目標</p> <p>ぶどう栽培、ワイン醸造の知識や技術の習得、有機農業や自然派ワインについての知識や技術の習得、農地の取得と畑の準備、ワインと食の組み合わせ研究</p>		
活動内容	<p>※何をして、どうなったのか。また、その結果自身の活動や地域おこしにどう繋がったのか。</p> <p>令和3年も引き続きコロナ禍の影響で活動が制限されたことは残念だった。マラニックも中止され、1月には長野、東京の小規模ワイナリーの研修訪問を予定したが、蔓延防止策の発令で断念せざるを得なかった。</p> <p>自身の農地について、令和3年度は、東側半分約1haの耕作放棄地を整備し、近隣のボランティアの方々のお力もお借りして、測量、5月に西側畑の補植も含め、約1800本の苗木を定植した。東側畑の品種はシャルドネ、ソービニヨンブラン、メルローの3種類とした。東側畑の棚栽培用の柱、ワイヤーの設置と、西側畑の隅柱のアンカー設置も済ませることができた。令和3年の夏は干ばつ時期があり、その間は防除組合のSSを利用して水撒きを行った。</p> <p>8月には、北海道ワインアカデミー、栽培コースの現地研修が余市、仁木町で行われ、当方畑にもアカデミーの講師や研修生の方々に見学して頂いた。</p> <p>西側畑のぶどうは2年目を迎え、樹勢の強いぶどう樹の数本に果実を残して収穫し、糖度等の変化を確認した。</p> <p>晩秋、住居の東側の空を整備した。空地の利用方法については今後検討したい。</p> <p>ぶどう栽培の傍ら、各種セミナーへ参加し、栽培や醸造の知識習得に努めた。参加したセミナーは、北海道ワインアカデミー公開講座、北海道醸造用ぶどうセミナー、日本ワインぶどう栽培協会セミナー、中央大学ワインエコノミクス講座、後志ワインアカデミー、道農政部ぶどうセミナー、仁木町ワインセミナー、日本ワイナリー協会セミナー、北大北海道ワインのヌーヴェルヴァーグ研究室セミナー。</p> <p>3月には、独立行政法人酒類総合研究所の第115回酒類醸造コース(ワイン)が北大</p>		

	<p>をサテライト会場として開催され、これに参加し、無事8日間のコースを修了することができた。</p> <p>また、情報発信として、毎週または毎月1回、仁木町地域おこし協力隊のフェイスブックに投稿したが、少しでもワインに興味を持つ人が増えたら良いと思う。</p> <p>3月末、皆様のおかげを持ち、地域おこし協力隊の3年間の任期を終了することが叶った。</p>
自己評価	<p>●一年間の自己評価及び進捗状況 東側半分約1ha弱の放棄地の整備と醸造用ぶどう苗木の定植、昨年定植した西側半分の醸造用ぶどう栽培を進めることができた。令和2年の夏は干ばつで、水やりに苦労した。</p> <p>●活動初年度からの自己評価及び進捗状況 農地の取得、住居の整備、醸造用ぶどうの定植を済ませることができた。</p>
抱負	<p>※次年以降又は退任後の抱負をご記入ください。</p> <p>日々醸造用ぶどうの栽培を続けて、ワイナリーの建設、醸造に着手したい。仁木町のワイン産業に貢献できる様、努力していきたい。</p>
その他	<p>※一年間で得た表彰、資格等がありましたらご記入ください。</p> <p>独立行政法人酒類総合研究所（広島県）主催 第115回酒類醸造講習（ワインコース）修了</p>

※活動がわかる写真を掲載してください。(複数可)

草刈：



畑の測量：



活動写真

色づいたぶどう：

